



《教育目標》

みらいにはばたく さくらの子
おもいあい まなびあい きたえあい

心と体をきたえる

校 長

10月4日に校内マラソン記録会を行いました。晴天に恵まれ、多くの保護者、ご家族の皆様から子どもたちへご声援をいただきました。心より感謝申し上げます。

このマラソン記録会の開会式で、子どもたちに以下の話をしました。

「自分のめあて、目標に向かって精一杯走りましょう。めあてが達成できるようにあきらめないで走りましょう。苦しくても、あと10秒とか、あと50歩とか、あの曲がり角まで頑張ってみようとか、自分を応援しながら最後まで走りましょう。マラソンは、心と体をきたえるとても良い運動です。」

マラソン記録会前の練習で、私は交通安全のお手伝いをしました。その際、子どもたちの走っている様子を見ていると、一生懸命走っている子どもと全力ではない様子で走っている子どもが見られました。全力ではない子どもたちの中には、体調が悪かった子どもがいたのかもしれませんが、それはやむを得ないことです。しかし、そうではないのならば、自分の限界に挑戦してほしいと思いました。それが、先に示した開会式での言葉につながるのです。

自分が決めためあて、目標に向かってあきらめずに努力する。そのこと自体に大きな価値があります。「マラソンは疲れるから嫌。だから、適当にやろう。」と考えたとしたら、本当にもったいないことです。せっかく自分が成長する機会を逃すことになるのですから。そんな意味を込めたあいさつだったのでした。

しかし、マラソン記録会当日は、どの子どもも自分のめあてに向かって一生懸命走りました。私の思いは杞憂だったようです。苦しくても走ろうとする強い気持ちを感じることができました。多くの保護者、ご家族の応援も力になったことは間違いありません。



学校行事でマラソンほど子どもにとって楽しくない行事はないでしょう。長距離を走ることを好む子どもは少ないからです。しかし、どの学校でも続いています。文部科学省が示している学習指導要領体育科の目標に「心と体を一体として捉え」と記されているように、マラソンは自らの心と体をきたえるには本当に良い運動なのです。

私たち教職員は、子どもたちの良いところを褒め、伸ばそうとしています。活動への意欲を高めるとともに、自己肯定感を高め「私はできる」という自信をもたせるためです。しかし、それだけでは不十分です。未来、未知の世界への挑戦意欲を高め、進んで取り組めるように支援します。時には、「私はあなたならもっとできると思います」と子どもにとっては厳しいことも伝えます。それは、自らをきたえ、自らを伸ばしてほしいと思うからです。

当校の教育目標は「みらいにはばたくさくらの子 おもいあい まなびあい きたえあい」です。何事にもあきらめず粘り強く取り組む子どもの育成に努めてまいります。